

住民監査請求についての意見陳述

2006年10月19日

山本 典子

先ほど、佐藤さんから、酷似している部分の報告書は、重要な調査委託だったということ、しかもその部分が酷似しているだけでなく、仕様書とおりの成果物になっているのかという点で、多くの問題があるということが説明されました。

私の方は、1300万円の算定根拠について、業者選定と成果物の関係について、監査請求書に補足の説明をさせていただきます。

(1) 1300万円の算定根拠が不明朗というきわめて異例な見積もり

今回の住民監査請求の最初に提出した証拠である、2005年度の三菱総研へ調査委託した「中野駅周辺まちづくり推進委託の実施」の起案書を見て欲しいと思います。ここには、1300万円の内訳として、「A 社会経済面からの検討 ○○円」「中野4丁目地区地区計画の推進 ○○円」となっているだけです。

① 証拠として提出してある、情報開示請求にたいする2005年12月22日付けの「一部決定通知書」を見て頂きたいと思います。

中野区は2005年度の三菱総研へ調査委託した「中野駅周辺まちづくり推進委託の実施」の起案にあたって、委託設計書、内訳書を作成していません。これでは、予定上限額1300万円の算定根拠を、発注者がもっていないということになります。

これは、これまでの調査委託と比較しても、大変、異常であることがわかります。

警大跡地についての調査委託は、2003年度に開始されました。2003年度から2006年度の調査委託も含めて、一連の調査委託の起案書・実施設計書・内訳書を証拠として提出してありますので、参照してください。三菱総研への調査委託が以外は、すべて詳細な積算による見積書にもとづいて、予定価格が決められていることが分かります。

たとえば、2006年度の「地区計画推進委託の実施について」という事業に、同じ地区計画の推進という調査委託にしても、「地区計画の推進」、「都市計画図書の作成」、「関係機関と協議、調整資料作成」、「仮称まちづくりガイドラインの作成」、「報告書整理作成・印刷製本」、「諸経費」、「技術経費」と項目に分類して積算しています。また、次にページを見ると「地区計画の推進」について、さらに細かく「地区計画（方針）の企画提

案書の作成」「地区整備計画の検討」と2つに分類して積算されていることがわかります。

他の年度の起案書を見ても、どれも同様に積算されていますので、是非、後ほど比較していただきたいと思います。

今回の、三菱総研への起案書がいかに杜撰なものか、先に1300万円の委託経費がありきのやり方になっているのかがよく分かります。

② なお、まちづくり推進室では、今回の委託調査について、委託設計書、内訳書を作成しなかった理由として、プロポーザル方式のためであるとしています。それは、情報開示請求にたいする2005年12月22日付けの「一部決定通知書」へのメモが、下のほうについていましたので、そのまま証拠書類として提出していますので参照していただきたいと思います。

しかし、地方自治法、会計法によれば、「予定価格は、契約の目的となる工事又は役務若しくは物件について取引の実例価格、需給の状況、履行の難易、規模の大小又は数量の多寡（たか）、履行期間の長短等を考慮して適正に定めなければならない」とされています。本来は、プロポーザル方式であろうが、なかろうが、この定めに従って適正に定められなければなりません。

さらには、中野区自身も、年度当初予算では、佐藤さんが詳しく説明したように、「警察大学校等移転跡地に関する委託調査が1,220万円」「企画提案型の契約方式も検討」と見積もりをしていたではありませんか。その算定根拠となる資料は、担当のところがもっているはずですが。

それなのに、「A 社会経済面からの検討 ○○円」「中野4丁目地区地区計画の推進 ○○円」、全体で1300万円の委託経費しか、算定していないというのは、区民の税金を使い方として、大変不明朗だといわなければなりません。

なお、先ほどの情報開示請求にたいする「一部決定通知書」のメモを参照すると分かりますが、契約は12月19日に確定していますが、契約書は年末になってもできておらず、「年明けにはできる」としているように、民間では考えられないような杜撰な契約状況であることも補足させていただきます。

(2) 2005年度の調査委託の報告書は前年度の修正程度のものを予定していたわけではない

次に、「地区計画の推進」というものが、前年度の修正程度のものではすまされず、当

初、この調査委託を重要なものと位置づけていたかについて、説明させていただきます。

① 1つ目は、先ほど、佐藤さんから意見陳述しましたが、地区計画の具体化の検討は、前年度の修正程度のもを予定していたわけではなかったということです。

佐藤さんが、説明しましたので、ダブル点が多いので簡単にしますが、再開発促進区の方針を決定し、その後、地区整備計画を策定するという予定のもとで、当初予算では1220万円確保していました。そして、それは担当課長が説明したように「跡地の土地利用を左右する非常に重要なもの」ということです。

② 2つ目の根拠について説明します。

まちづくり推進室は、2006年度も、同様な調査委託を起案し、セントラルコンサルタントの契約しています。この起案書をみると、三菱総研への調査委託とほとんど、同じ内容のものです。証拠として提出していますので、参照してください。

「(1) 地区計画の推進、①再開発等促進区を定める地区計画の企画提案書の作成、②再開発等促進区及び地区計画整備計画の検討、(2) 再開発等促進区等を定める地区計画等の都市計画図書の作成、(3) 再開発等促進区を定める地区計画及び基盤整備費等に関する協議、調整に必要な資料の作成、(4) 警察大学校等跡地の総合的まちづくりのためのガイドラインの作成」となっていますが、「(4) 警察大学校等跡地の総合的まちづくりのためのガイドラインの作成」以外は、三菱総研への調査委託と同一ではありませんか。

このような調査が必要であり、重要なものであるからこそ、再度、セントラルコンサルタントに調査委託したのではありませんか。

三菱総研の調査委託の結果では不十分なものだったので、再度、セントラルコンサルタントに調査委託したのではないのですか。

それとも、今年度のセントラルコンサルタントへの調査委託も650万円もかけて修正程度のもので、すまそうというのですか。

専門家の皆さんの手で、しっかりと監査していただきたいと思います。

(3) 酷似の元の報告書は420万円、財務省の調査委託は16万円

① 今回、酷似しているとしている元になった報告書は、(財)新都市建設公社を通して、日建設計へ再委託され、『地区計画検討支援業務報告書』として2004年度に納品されていますが、これは420万円で作られています。

② 2005年8月、「警察大学校跡地の有効活用を促進することを目的に設置し、公用公共

施設の整備、都市計画法に定める地区計画の策定などを視野に入れた利用計画、整備方法等について協議・検討する」として、財務省、東京都、杉並区、中野区による 4 者協議を開始しました。

それにあたって財務省は、「府中空軍施設跡地及び中野警察大学校等跡地にかかる調査研究等の委託」という調査委託を行いました。

警大跡地の部分だけに限れば、その調査目的について、財務省は、「東京都、中野区、杉並区が策定した『警察大学校等移転跡地土地利用転換計画案』及び中野区の委託先が作成した『地区計画検討支援業務報告書』の内容の妥当性を判断するとともに、跡地の想定建築物ボリュームを再度検討し、計画容積率等が適正で実効性あるものか検証（法的な検証を含む）する。」としています。

予定価格は、府中空軍施設跡地の調査委託を含めて、300 万円でした。競争入札の結果、わずか 16 万円で調査が行われました。

その報告書について、証拠として提出しました。但し、膨大な資料となるため、全文の構成がわかるように目次だけの部分とさせていただきますこととお許しください。

このように、三菱総研の報告書の元になった『地区計画検討支援業務報告書』は、420 万円でまとめられ、財務省が競争入札でおこなった『地区計画検討支援業務報告書』の内容の妥当性等を判断するための調査委託は、予定価格 300 万円にたいして 16 万円で報告書が納品されています。

(4) 契約相手先は、実績を重視して、他社を大きく切り離して高得点を確保し、最高の成果物を期待し、最適な業者としてプロポーザル方式で三菱総研に決定された。

① 当初予算についての予算特別委員会での質疑の時点で、担当課長は、「地区計画方針（再開発等促進区）の決定とその具体化に向けた検討」についてで、プロポーザル方式について検討することを回答しています。いつの時点で、ランドデザインが入ったかは不明ですが、佐藤さんから説明があったように、当初予算の段階で、「跡地の土地利用を左右する非常に重要なもの」として、地区計画の決定にむけた調査が位置づけられていました。そして、議員から「これから委託先、あるいは選定方法を決める場合に、単なる委託経費が安いということではなくて、企画内容のすぐれているものですか、そういうところを決めるということと、それから区民に見える形で、透明な選定方法をぜひ行っていただきたい」との提案を受けて、担当課長が「参考にさせていただきながら検討させていただきたい」と即答しました。

この時点で、すでに地区計画の調査委託をするために、すでにプロポーザル方式が念頭にあったことがわかります。

② 実際におこなわれたプロポーザル方式の企画書を見ても、「実績」として、わざわざ「特に再開発等促進区を定める地区計画」とまで明示して、参加各社の実績が評価されました。

「業者を指定した理由書」には、「内容は、社会経済分野と都市計画分野からの総合的な検討であり、高度な専門性を必要とする。このような目的のもとに委託先を選定するにあたっては価格競争はなじまず、かつ、民間がもつ高度な専門知識、技術を最大限活用する見地から、関係分野の意見を取り入れ、当分野において、公募型プロポーザルを実施した。応募者の企画提案書等を別途設置した審査委員会で評価した結果、最も高得点を標記の者が、本委託の相手方として最適である旨決定された。公募型プロポーザル応募者全員の参加表明書、企画提案書の評価により、委託成果が最大限確保できる最高評価点者であることから、標記の者を指定する」としています。

このように地区計画部分だけでみても、区が最適な受注者を特定するためにプロポーザル方式により契約先を選定し、三菱総研には大きな期待をかけて発注したということが言えます。

(5) 仮に成果物として前年度報告書の修正程度のもを予定していたものとする

仮に、住民監査請求について各紙報道のように、最初から酷似した報告書の部分について、「重視していなかった」「報告書の中心はランドデザイン」だとすると、どういふことになるのでしょうか。

当初予算は、いったい何のために見積もられたものということになるのでしょうか。議会での報告、質疑はウソだったとでもいうのでしょうか。なぜ、また 2006 年度に地区計画の調査委託を 651 万円もかけてすることになるのでしょうか。まったく、不透明です。「単に委託経費が安いということではなく、企画内容がすぐれている」などということと委託先の選定方法を検討した、プロポーザル方式は、いったい何のためだったのでしょうか。

当初予算は、地区計画の調査委託で見積もられたわけですから、仮に重視しないとなれば、突然出てきた社会経済分野での調査は別にして、地区計画については修正程度ということで、競争入札にして行えば、こんなにも区民の税金を使わなくて済んだはずで

三菱総研の報告書には、なぜ警大跡地について再開発促進区でやるのかの理由、比較検討資料はありませんが、わずか 16 万円で納品された財務省の報告書には、再開発促進区と用途変更の 2 通りについてメリット、デメリットが比較検討され、再開発促進区の手法を取り入れるかについての理由付けがされております。

三菱総研の委託仕様書には、「再開発促進区の合理性の構築」という課題が明記されているにもかかわらず、報告書には明記されていないというのはどういうことでしょうか。9 月 20 日、25 日に開かれた警大跡地の都市計画案の方針についての住民説明でも、担当者からは、再開発促進区という手法をとるのかの説明は一切ありませんでした。

そもそも、三菱総研の地区計画の調査委託は、区民にとって成果があったといえるものなのでしょうか。

結局、2005 年度「中野駅周辺まちづくり推進委託の実施」の委託調査は、1300 万円という見積もった委託経費の根拠もあいまいなまま、しかも成果として予定していた地区計画へ向けて必要な資料は、改めて今年度になってセントラルコンサルタントと進めているわけで、三菱総研の報告書は、中野区民が 1300 万円の税金を支払っただけの価値があったと言えるものなのか大変疑問です。1300 万円も使って、不要なものをつくらせてしまったのではないかとの疑問がぬぐいきれません。区長の責任は、大変大きなものがあると思います。

先ほど、佐藤さんからも意見が述べられましたが、土地で 700 億円ものお金が動き、さらにその上物で莫大なお金が動くと言うことになれば、その元となる計画をつくるための調査には、一点の不正・不法が指摘されてはならないと思います。真相を、全力で究明してください。

過去にも、警大跡地にかかわる(財)新都市建設公社の調査委託について、会計監査から問題が指摘されましたが、その後の措置はうやむやになってしまいました。今回は、そんなことがないように、監査委員のみなさんに頑張ってもらいたいと思います。トカゲのしっぽきりにならないように、監査委員のみなさんには、真相究明に全力をあげて監査をしていただきたいと思います。

今後の土地利用を左右する大変重要な調査です、一点の問題もないようにして進められるよう、よろしくお願いします。

もう一度申し上げます。なぜ、① 1300 万円の委託経費を算出した内訳書もなく、②他の例と比べて格段に高く、③しかも役に立ったのか不明な調査委託を、特定の業者にや

らせたのか、この3つの謎を、私たちにわかるように解き明かしていただきたいと思います。

今日は、お話をさせていただく時間をつくって頂きまして、大変ありがとうございました。